

天井をぶっ壊せ！ みんなで作る THE MARKET

東天下茶屋電停の横の建物を学生や地域の人みんなで天井板をはがし、古い照明器具を撤去し、壁を取り払い、釘を抜き、クロスをはがす。通りがかった近所の人たちも「レストランになるんですか。楽しみです。」と嬉しそう。東湊の番茶屋茶房さんの差し入れのお茶の美味しいこと！みるみるうちに壁や天井がむき出しになる。手描きの看板が立つ。



新しく生まれ変わるのは東天下茶屋電停の踏切を隔てた線路際店舗。昨年実験的に9回のマルシェを開催し、5月にバーベキューレストラン等に生まれ変わる。町全体に大きな変革の渦を起こす仕掛け人は、加藤寛之さん。

阪神淡路大震災の年に立命館大学に入学、「COM 計画研究所」の高田昇先生に師事。2008年6月に「株式会社サルトコラボレイティブ」を設立。全国各地を飛び回り各地のマルシェ等で新たな魅力を創造する第一人者。「STAY local (ゲストハウス)」はご夫妻で運営されている。



これまで一地方と都市を結ぶ月1マーケット

2000年、町家再生のレストランは京都に数軒という時代に、丹波柏原で町家を活用した「イタリア料理店オルモ」を前述の高田先生や仲間とプロデュース。先端を行く人だ。

地方の再生は都会のお金を流入させて地方でお金が回ること。

丹波ではPRとデザインの会社、「株式会社ご近所」の代表として、丹波地域の会社や公共団体が行うPRやデザインを請け負う。月1回開催する定期市、「丹波ハピネスマーケット」は2012年9月にスタート。I Uターンで丹波に住むスタッフで構成された「株式会社ご近所」がPRや運営を担っている。

大阪芦原橋では、地域のリブランディングに向けたまちづくり会社「一般社団法人リイド」を設立。地域の協議会で総意を得、実際の仕掛けは意思決定の早い法人でというやり方で、月1回の「芦原橋アップマーケット」は大きく発展、なんばパークスにも毎月出張し、地域の人口は15%以上上昇、もちろん地価も上昇している。

伊賀では「ダーコラボトリLLP」を設立し情報誌「daco」を発行(2011年2012年で10号)、「伊賀風土FOODマーケット」を毎月開催。空き店舗だらけだった商店街に新しいお店を10店舗誘致し、情報発信サイト「だーこ」も運営する。

鹿児島鹿屋では「株式会社サルッガラボ」を設立し、ここでも毎月のマーケットをサポートしつつ、ホテルのリノベーション、情報発信サイト「さるっがblog」を運営している。

他兵庫県三田市、大阪府大東市等、多数。日本で一番テントを立ててきたと笑いながら本人。(3pにつづく)



蕎麦屋「夢KAN」ではSMILE展が開催されました。懐かしい写真がいっぱい。期間限定での「SMILE座」も結成され人気バンド「昭和町」リーダーの協力で新曲を披露！



昭和町 LINE@



ちん電松虫から松虫通りを南へ。
阪南中公園前「アンティーク通」



寺西家住宅と長屋

一帯にはcaféや、アンティーク、ギャラリー、
産地直送野菜、ボードゲーム、等、個性的で魅力的な店等がある。

今 - THE MARKET を常設マーケットに！

大阪に住み始めた頃は東住吉に住み、今は東天下茶屋電停から歩いてすぐの所に住まいがある。Airbnbを通じて、自宅をホームステイ型でシェア、世界の旅人との交流をされた。この交流が本当に素晴らしくかけがえのないものとなり、宿泊後もその交流は続く。まさに世界中に友だちがいる感覚。



地元の魅力ある店主の生き方に刺激を受けつつ、エリアの価値を上げる試みを、不動産や建築家等の仲間と「ビーローカルパートナーズ」を立ち上げ、「Buy local」に取り組んで6年になる。今年も11月にはバイローカルマーケットが開催される。その目指すところは、良き商いを地域の人みんなで守り育てようという理念だ。月1マーケットや「Buy local」の取り組みで都市の再生の形は見えた。次は常設マーケットをめざす。

良い町をつくる Be Local
商いが育つしくみ Buy Local
住まうように滞在できる Stay local

これから - 新しい流通を創造する

「地方では中心エリアよりもその周辺の生産者や加工業者が衰退している。産地の元気を取り戻すためには、外から来てもらうという観光と地方の産物を都会へ流通させる方法の2つがある。観光地で無かった地域の多い日本は新しい流通創造の方が地域再生の本質。」

これから産地と都会を結ぶ新しい流通に取り組んでいきたい。大阪を中心に60店舗の飲食店の経営をする「株式会社RETOWN」の執行役員も務める。生鮮産品の産地直送を中心に独自の流通構築に挑戦している会社だ。「THE MARKET」はその仕掛けの場でもある。また、自宅と「STAY local」の中間地点にあり、海外からのゲストが顔を合わせられる場所として、またチェックイン、チェックアウトをする場にもしたい。朝食を提供する場にもなれる。

昭和町エリアは、素材にこだわり手間暇かけて提供する新旧の店が色々ある町。大都市近郊だが懐かしさや人の生き方暮らし方としての文化が感じられる個性的な町。大量生産大量消費の画一的なものから多様性へ。優れたデザイン力と次の時代を見据えた挑戦に大きな希望がある。THE MARKETは日本各地、世界とつながる新しい流通の仕掛けの場。ここ東天下茶屋から始まるのだ。

<http://sartoco.hatenablog.jp/entry/2018/04/01/202228>



古い物買います

「がらくた館」で検索

SuperおもしろGardenがらくた館

館長 山川長年
がらくた館

携帯 07065003541

大阪市阿倍野区王子町3-7-18

王子町倉庫
営業日/金・土・日
12:00~18:00



Community café 64

店主こだわりのスパイスカレー。挽きたてのハンドドリップ珈琲は深い味わい。松虫から歩いて数分、あべの筋から一筋入るとそこは別世界。昔ながらの手焼きの煎餅店や、ピリヤード場がある路地の風景が広がる。そんな日曜だけのカフェで大人の休日を満喫。
大阪市阿倍野区王子町1-11-30
TEL090-3829-9998
田代(タシロ)営業:日曜のみ
営業時間:11:30~15:00頃
(なくなり次第終了)



みんなのLdk(レンタルキッチン)

自然素材で建てる家 新築・リノベーション 大長ハウス株式会社
<http://www.daichou-house.com/kitchen/>(※詳細はHPでご確認ください)